

ハンカイソウ	<i>Ligularia japonica</i> Less.	絶滅危惧 I 類
		キク科
選定理由	生育地、個体数ともに極度に減少している。	写真(高橋弘) 
形態の特徴	茎は高さ60-120cmになる。大型の根出葉をつくり、開花時も枯れない。根出葉には長さ30-50cmの柄があり、葉身は掌状に分裂し、裂片は長さは30cmになる。茎葉は3枚が互生し、根出葉より小型で、葉柄も短い。頭花は直径6-8cm、舌状花と筒状花からなり、舌状花は黄色。	
生態的特徴	湿地や湿った草原、あるいは落葉樹林下に生育する。花期は6-8月。	
分布状況	中国、台湾、朝鮮にも分布し、日本では関東地方以西の本州、四国、九州に分布する。岐阜県では美濃地方に見られる。	
減少要因	開発による生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘